

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 多細胞性シアノバクテリアの細胞分化調節物質の探索

2. 個人研究者名

木村 駿太 (宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 特任助教)

3. 事後評価結果

細胞休眠メカニズムについての研究が世界的に遅れている中で、本 ACT-X 研究では、シアノバクテリアをモデル生物として、細胞分化の活性解析に基づいて休眠からの発芽を調整する分子の単離、同定を目指してきた。研究の結果、発芽促進活性と発芽抑制活性に関する化合物を単離、精製する方法を整え、活性画分を特定することができた。未経験であった物質探索の実験に挑戦し、単離の煩雑なステップを地道に重ねて候補物質を見出したことは評価できる。今後、構造決定を進めて独創的な成果を発表することで、新たなバイオロジーにつながることを期待する。